

このことから、平成28年度産米は、塩化カリ肥料散布による放射性物質吸収抑制対策を実施しないこととしました。

◎東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う損害賠償請求について、原子力損害賠償紛争解決センターに『あっせん申立て』を行いました。

平成27年9月定例会で議決した平成23年度から平成25年度分の損害賠償請求について、平成27年10月20日付けで原子力損害賠償紛争解決センターに和解仲介手続申立書を提出しました。

申立額は、平成24年度分の「塩化カリ肥料購入費」など3件の賠償額に合意したため、  
【当初の申立予定額】  
2億1千62万7千391円  
から、【実際の申立額】  
1億6千73万2千210円

に変更して提出しました。また申立後に、平成23年度分の「塩化カリ肥料購入費」や平成25年度分の「イノシシ処分費用」も合意したため、12月補正予算の歳入として計

上しています。

平成26年度以降に市が負担した経費及び被災した損害については、遅延損害金も含め、東京電力(株)に対して損害賠償請求を行っています。

◎白石・白川・大平地区の『焼却灰』について、平成27年11月から一般廃棄物として収集を開始しました。

焼却灰の放射能濃度測定については、以前から環境省と協議を行いながら進めてきましたが、今回、調査方法と指定廃棄物の指定方法を、従来の各世帯から地区単位に変更するよう指摘がありました。

この指摘を受け、『白石・白川・大平』地区の焼却灰の再調査を実施したところ、3地区とも放射能濃度は8千ベクレル以下となり、平成27年11月から一般廃棄物として収集を開始しました。

すでに収集・保管を開始している地区においても、年明けには再調査を実施することとしており、その結果に基づき対応していきます。

## 予算審査特別委員会

第92号議案・平成27年度白石市一般会計補正予算(第5号)

から第96号議案・平成27年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)の計5議案について、定例会2日目(12月8日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・四竈英夫、副委員長・松野久郎)は、12月9日に審査を行い、すべての議案について、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成27年度白石市一般会計補正予算(第5号)

### 総務費

入分(定住者補助金)が20件の合計60件である。

転入の状況については、県外からの転入は、東京都・茨城県・山形県が各1件、福島県が2件の合計5件である。県内からの転入は、名取市・岩沼市・丸森町・柴田町・蔵王町が各2件、仙台市・大崎市・栗原市・七ヶ宿町・大河原町が各1件の合計15件である。

転入促進事業者奨励金については、紹介された事業者に対する奨励金で合計20件、その内訳は、市内・市外業者がそれぞれ10件である。

【質疑】防犯灯について、今回、市内4カ所に10灯を新たに設置することだが、自治会等からの要望に十分応えられている状況なのか伺う。

【答弁】各自治会長からの要望書に基づいて補正予算を計上しており、現時点で、すべての要望に込んでいる。

### 土木費

【質疑】大鷹沢三沢地内新幹線高架の東側に設置している谷津川仮橋の撤去について、その詳細を伺う。

【答弁】谷津川仮橋の撤去については、すべて市で行うもので、撤去のための測量設計委託料の補正予算を計上している。

この橋は、昭和52年5月に新幹線建設工事によって設置された鉄製の橋梁である。

市では、昭和57年1月に交通の利便性を図るため、当時の仙台新幹線工務局長に橋梁の無償譲渡を要望した。その結果、橋梁の使用後の